

地球（知究）市民の育成

天草高等学校校長

馬場 純一(高33回卒)

天草高校同窓会関西西国南会の皆様におかれましては、御健勝のこととお喜び申し上げます。平素から本校の教育活動に、御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスも青少年を中心にじわじわと感染拡大の様相を見せ始めており、今年も「ニコロナ」の日々となりそうです。 関西西国南会の皆様におかれましては健康第一に、安寧にお過ごしください。

さて、今年度の始業にあたり、アメリカで今注目を集めている17歳の少女、ギタンジャリ・ラオさんの話を職員と生徒にしました。〈水道水からの鉛除去装置〉や〈SNSのいじめに使われそうな言葉の自動検知と置き換え案内アプリ〉を次々と発明した人です。彼女は、この世の中を動かしていくのは“Kindness（思いやり）”であり、「困っている人を救いたい」が彼女の行動原理だと言います。私は、「これこそが天高三綱領の「寛厚」に謳う精神です。今、世界で何があっているのかを知り、誰が苦しんでいるのか、解決のためには何をどうしたら良いかを考えてください。そして次世代を担う



「地球（知究）市民」を目指してください」と語ったところです。

幸いなことに、今春も多くの生徒たちが、国際教養大学1、東京藝術大学1、九州大3、熊本大17（医学部医学科には4年連続）をはじめ、国公立大学に71名立命館大学等関西圏の私大にも合格するなど、自らの夢の入り口としての進路を達成してくれました。また、SSHも、全国から申請のあった80校中約半分が不合格となる厳しい審査を突破して、見事第Ⅱ期指定校となりました。併せて熊本県の学力向上研究指定校ともなり、本年度から全校体制で探究型の授業改革が始まります。

「なぜ学ぶのか？」それは「困っている人を助けるため」です。定時制や倉岳校でも一人一人を貴重な「人財」として輝かすべく、限られた時間の中、丁寧にかかる授業を構築し、生涯の「学び」を自指して「人間」教育に邁進していきます。今後とも御支援のほどお願い申し上げます。

最後に、天草高校同窓会あまたか関西の益々の御発展を祈念申しあげ、御挨拶いたします。

၂၀၁၁
 ၂၀၁၀
 ၂၀၀၉
 ၂၀၀၈
 ၂၀၀၇
 ၂၀၀၆
 ၂၀၀၅
 ၂၀၀၄
 ၂၀၀၃
 ၂၀၀၂
 ၂၀၀၁

天草高校 部活紹介



上段左から女子バレーボール部、男子バレーボール部
下段左から食物・被服部（米粉講習会）、剣道部（基礎練習・天高HPより）

食物被服部



アロマキャンドル

な灯になります。またアロマオイルを入れることで、癒しをもたらしてくれます。今後この活動は継続したいと思います。今年は熊本県

令和3年度の食物被服部は顧問の福島晴菜先生のご指導のもと、部員28名で毎週水曜日に活動しています。また、食物被服部は、天草高等学校家庭クラブの役員も兼任しています。今年も新型コロナウイルスの影響で、活動が難しいときもありましたが、歴代の先輩方が活動されてきた「アロマキャンドル」作りなど行いました。このアロマキャンドル作りは2016年に熊本地震が発生し、その際に全国の学校家庭クラブ部員より多くの励ましを頂きました。その翌年、天草高校が熊本県学校家庭クラブの事務局校になり、熊本県学校家庭クラブの仲間たちと協力して、感謝の思いを込めた防災用品の一つとして「アロマキャンドル」を約1000個制作し、長崎で行われた全国家庭クラブ研究発表大会の会場配布をしました。アロマキャンドルは、日ごろは玄関などに置いておくと、インテリアになります。アロマキャンドルは、日

学校家庭クラブ研究発表大会の生徒審査員も務めました。県内の代表校の家庭科に関する研究発表大会であり、家族



や家庭・郷土・環境などさまざまな取り組みが行われており、改めて私たちの身の回りの様々な問題を深く考える機会になりました。

また、今年は2名のALTの先生がいいらっしゃるため、作り方などを英語で伝えながら一緒に活動を楽しんでいます。クリスマスには、一人一台のデコレーションケーキを作ったり、お正月料理を作ったりしました。また、米粉講習会を行い熊本県産の米粉を使用することで、普段とは違う特別感やグルテンフリーなど米粉の特徴について学ぶことができました。講師の先生は、天草出身の先生であり、先生との交流によって新たな発見もあり、部員全員がいっききとしており、人々との関わりの大切さを強く感じる機会となりました。これからは先輩方や地域の方との関わりに感謝し、日々新たな発見と学習を繰り返して、天草高校を応援する立派な大人になっていけるようにこれからも頑張っていきます。

女子バレーボール部

天草高校女子バレーボール部は、2年生8名、1年生4名の計12名で活動をしており、顧問の先生方のご指導のもと、県ベスト8という目標に向けて頑張っています。

私たちのチームは、明るくて元気がいという特徴です。一人ひとりの個性が強く、部活動でもその個性を活かして練習に励んでいます。

入学してから、新型コロナウイルスの影響で、大会や練習の中止が相次ぎました。その中でも目標が達成できるように、各々で一日のトレーニング内容を決めて練習し、みんなが閲覧できるweb上のシートに入力することで、お互いの頑張りを確認できるように工夫しています。この取組によって、いつでもチーム全員で取り組んでいる気持ちになれます。

また、通常の練習では、今の自分たちに必要な練習メニューを部員同士話し合いながら



天草高校HPより

考えています。人数が少ないときなどは、男子バレー部と合同で練習したり、試合をしたりして、いつもとは違うボールのスピードや回転、試合中の動きを確認し合ったりと良い練習をすることができています。さらに、公式戦が終わると、ミーティングを開いて今までの練習と試合の時の良かった点と反省点をそれぞれの場面から出し合い、次からの練習内容に活かしています。まだ、自分たちの納得のいく結果を得ることはできていませんが、高校総体までの残り期間を、大切に組みたいと思います。

最後になりますが、4月から自分たちが3年生にあがり、後輩を引っ張って行く立場になります。私は、今年度卒業された先輩方と一緒にプレーできる時間が好きで、憧れを抱いていました。そのような先輩像に近づくためにも、メンバー一人ひとりが悔いを残さず終わることができるようにこれからも頑張っていきたいと思っています！

男子バレーボール部

男子バレーボール部は現在11名の部員と3名のマネージャーで活動が続いています。近年では、上級生が引退すると部員数が足りず試合に参加できなくなることもありましたが、試合には参加できるものの年々部員数が減少しているのが現状です。

過去には県大会2位となり九州大会へ出場したことやベスト4に入るなど、数々



天草高校HPより

や約束事を確認しながら取り組んでいます。現在はコロナ禍にあり思うように練習や試合ができない状況

の輝かしい結果を出していましたが、最近では目立った結果はだせていないのが現状です。

現在のチームは、高校からバレーボールを始めた生徒も多く、さらに県下でも二番目に平均身長が低いチームではあります。が、地道な練習を積み重ねベスト8とも接戦を繰り広げるなど、上位を狙える位置につけています。

練習は岩崎睦夫監督の下、【考えて動くこと】をテーマとして取り組んでいます。部活の数が多く、体育館も十分に使用できない中、体育館が使えないときにどんな練習が行えるかを自ら考え、筋力トレーニングや持久力を高める工夫をすることにより効果的に能力を高める工夫をしています。体育館が使用できるときには、ボールを使ったゲーム中心の練習やフォーメーションやコンビネーションを中心とした練習に取り組んでいます。技術的に未熟な部分は多いですが、丁寧に高い確実性を高めることが課題となっています。みんなで声を掛け合い、指示

剣道部

が続いています。他校との練習試合もままならず、ゲームに対する感覚を身につけることが難しい状況です。他の高校も同じ状況でもあるので、現チームもこの状況に耐え、強い精神力を身につけていきたいと考えています。

先輩方の培った伝統を基に、天草高校の名前に恥じないよう一生懸命頑張っています。今後どうぞ応援をよろしくお願いします。

「もう少しを繰り返せばいずれ大きな結果になる、小さな差を軽視すれば小さな差に泣く、目標を達成できる人間は小さな差を重視し、もう少し頑張る習慣がある」この言葉は道場に大きく掲げている言葉です。私は稽古の前、必ずこの言葉を読み、気持ちを高めています。私が剣道部に入部した時、部員は15人程在籍していました。「高校総体ベスト8」を目標に、先輩方と切磋琢磨しながら、日々楽しく活動していました。しかし、先輩方が引退され、現在の剣道部の部員は新3年生の私一人になってしまいました。多くの先輩方と稽古していた日々が懐かしく、尊いものであったと実感しながらも、先輩方と立てた目標を達成すべく、人数が少ないからといって稽古の質を下げることはなく、熱心に稽古や筋力トレーニングに励んでいます。

今年度から新たに保健体育科の後藤先生が赴任され、より専門的な指導を受け



天草高校HPより

ることができています。新型コロナウイルスの影響により、公式戦や校外での練習試合などにも制限があり、実戦経験を思うように積むことができていませんが、後藤先生にマンツーマンで稽古をつけていただいているので、自分の剣道が成長していることを実感することができています。もう一つ剣道場には【人間力】という言葉が神前に掲げてあります。剣道には「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という理念があります。私は剣道を通じて、「礼を尽くす」ことを学びました。挨拶や言葉遣い、身だしなみに至るまで、「礼を尽くす」ことは社会を生きていくうえでとても重要です。道場に掲げている【人間力】を身につけ、他者を思いやり、今後の生活でもより自身の【人間力】を向上出来るよう、日々の稽古に取り組んでいきます。

1人きりで頑張り続けた1年間ももう過ぎ、夏には高校総体という最後の大会がやってきます。僕はこの天高に誇りを持ち、天高剣道部として、良い結果が残せるよう最後まで頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします

剣道部主将 岩崎 令弦

あまたか関西を応援しています

株式会社 **フジコー**

取締役会長 **原田 龍雄** (高11回卒)

熊本県天草市亀場町亀川1704-1

TEL 0969-24-2308 FAX 0969-24-2417

民芸様式・暮らしの器・手仕事の美

露古壽窯

ろ こ じゅ がま

露古壽窯 京都府長岡京市梅丘3-3-5

西堀寛厚 (高9回卒)

☎ 075-951-5222

森の露古壽窯 京都府船井郡京丹波町森山田3

西堀志伸

☎ 0771-82-2884

令和3年度

天草高校便り

昨年度もコロナ禍に翻弄された一年でした。修学旅行もマラソン大会も中止。厳しい経験ではありましたが、その条件のもとでも工夫を凝らした学園生活を過ごしてくれました。将来、必ず役に立つと信じています。天草高校のホームページより抜粋して、皆さんに紹介します。

入学式

4月8日(木)天草高校体育館において第76回入学式が挙行されました。天



入学式

草高校の一員となった196名の新入生に対して、馬場校長先生は「挑戦者であれ」「誠実であれ」と述べられ、主体的に自ら考え、果敢に挑戦してほしい、そして社会を造るために人格を磨き、誠実に実践する人になってほしい。といった願いが込められた祝辞でした。

体育大会

新入生を代表して山田さんが「今、私たちは、自分たちの夢や目標を忘れず、一生懸命に努力し続けることを決意している」と宣誓を述べました。

5月9日(日)五月晴の下、第76回天草高校体育大会が開催されました。馬場校長先生から「天高生一人ひとりがコロナウィルス感染予防に務め、保護者にも協力頂いて開催することができた。無心の身体表現には、邪気を払う力がある。ぜひ、団長、生徒会を中心に作り上げてきたものを全力で表現し、地域に向けて発信してほしい。」と激励がありました。その後水田育友会長、森生徒会長、紅白両団長の力強い宣誓があり、2年ぶりの体育大会に、皆の想いが込められた開会式でした。

熱戦が繰り広げられたのですが、今年度のテーマは「煌華(おうか)青春の花ひらり」で、一人ひとりを一輪の華に例え、最大限に煌めいて欲しいという願いが込められています。総合優勝を紅団と白団で競うのですが、今年の成績は以下の様になりました。



体育大会・マスゲーム

○ パネル部門優勝 紅団
○ 演舞部門優勝 紅白両団
○ 総合優勝 白団
両団ともに素晴らしい演技で、甲乙つけがたい、という採点員からのコメントもありました。

文化祭

9月17日(金)文化祭が開催されました。新型コロナウイルス感染防止のため、生徒・職員のみで観覧となり、一般公開はできませんでした。

今年度の文化祭テーマは「君色青春 First take」で、生徒一人ひとりが自分の色を出して、文化祭を取り組んでほしい。さらには、たった一度の青春を存分に楽しんでほしいという思いが込められたものです。

1年生全クラスと、ASⅡ、芸術の授業選択者(書道・美術)、家庭基礎ホームプロジェクト、各種委員会、定時制、部活動、有志参加者による力作が展示されました。さらに2学年全クラスと保健委員会、音楽の授業選択者、生徒会が作成した動画を、各クラスの大型提示装置で視聴しました。



文化祭ポスター

卒業式

3月1日(火)、天草高校体育館において、第74回卒業証書授与式が挙行されました。全日制課程222名が天草高校を巣立ちました。馬場校長先生は「この先の道では、自らの志を信じ、孤立することを畏れないでほしい。高校生活で培った知識欲と行動で、未来を切り拓いてほしい」と式辞を述べられました。在校生代表として杉尾生徒会長の送辞があり、卒業生総代として小川くんが答辞を務めました。

今年の卒業の歌は、back numberの“水平線”でした。



卒業証書授与式

辛いときにも人に優しくすることの大切さ
その辛さは、必ず光に変わる時が来る
今の時代を力強く歩んで欲しいという
想いが込められています。この歌とともに、卒業生は体育館を後にしました。

韓国土坪高校との交流

公益財団法人日韓文化交流基金による
交流事業で、天草高校と韓国の土坪
高校は姉妹校として交流しています。
ところがコロナ禍によって、お互いの
訪問が途絶えています。しかし両校は
創意工夫を凝らし交流を続けています。
昨年度は、すべてオンライン会議シス
テムを使って4回の交流を持ちました。



土坪高校からのビデオメッセージ

いろいろなツールを使つての交流です
が、お互いに科学の研究発表や文化の
発表を合いました。
5月の交流では土坪高校からメッセー
ジビデオが届きました。
天草高校の皆さん、
こんにちは。
私はトピオン高校のクマモンで
す。
馬場純二校長先生が「band」に加
入してくださり、天草の写真も
送ってください、本当にありが
とうございました。
天草の写真を見ると、早くコロ
ナが消えてしまつて、天草高校
に訪問したい思いでいっぱい
です。

天草高校

令和4年度進路状況

令和4年度入試 春 進路概況（現役・過

年度卒 延べ合格者数）

国公立大学 71名

私立大学 208名

短期大学 7名

高専・専門学校等 69名

就職・公務員 23名

〈国立大学〉

九州大学 3 熊本大学 17（医・医1）

信州大学 1 東京藝術大学 1

佐賀大学 2 長崎大学 2 大分大学 6

宮崎大学 3 鹿児島大学 9 三重大学 1

〈公立大学〉

国際教養大学 1 熊本県立大学 11

北九州市立大学 3 福岡県立大学 1

長崎県立大学 2 宮崎公立大学 2

名桜大学 2 福井県立大学 1

福山市立大学 1 滋賀県立大学 1

長岡造形大学 1

〈私立大学〉

青山学院大学 1 日本大学 2

工学院大学 2 東洋大学 1 東海大学 3

帝京大学 2 東京電機大学 1

東京工科大学 1 東京保健医療職業大学 1

武蔵野大学 1 国立音楽大学 1

千葉工業大学 2 国際医療福祉大学 2

立命館大学 1 龍谷大学 2

九州看護福祉大学 10 岡山理科大学 1

環太平洋大学 3 九州ルーテル大学 3

尚絅大学 2 熊本学園大学 29

九州産業大学 7 熊本保健科学大学 13

崇城大学 9 久留米大学 17

西南学院大学 3 福岡大学 21

福岡工業大学 9

日赤九州国際看護大学 1 ほか

〈短期大学等〉

尚絅大学短期大学部 3

福岡女子学院大学短期大学部 1 ほか

〈専門学校等〉

天草市立本渡高専 12 上天草看護 3

熊本医療センター附属看護 1

熊本労災高専 2 熊本市医師会看護 5

ほか

〈就職・公務員〉

天草市 5 苓北町 1

天草市広域連合消防 1 国家一般 1

税務九州 5 税務関東申信 1

裁判所事務福岡 1 航空学生 1

熊本県警 1 県内就職 4 ほか



韓国土坪高校交流

1983年日本韓国間の交流活動に特化した民間団体として、公益財団法人「日韓文化交流基金」が設立されました。両国国民間の相互理解を深め、信頼関係を発展させるため、各種の青少年交流事業、学術交流、さらに草の根レベルの交流を支援する事業等を実施しています。

1989年、日本政府より「日韓学術文化交流事業」を受託。フェローシップ事業、助成事業を開始しました。更に1995年には「日韓平和友好計画事業」を受託した。そして1999年に第1期日韓文化交流会議発足。高校生及び中学生の交流事業が始まったのです。

2014年、国の「21世紀東アジア青少年大交流計画」による韓国高校生訪問団を天草高校で受け入れた際、団長だった土坪高校

の李敬容校長が天草高校の雰囲気と生徒に感激され、姉妹校交流を申し入れられたことから両校の交流が始まりました。2015年夏、前田校長（当時）を



2014年 韓国高校生訪問団天草高校来校

土坪高校は、韓国の首都ソウルの東に隣接するベッドタウンの久里市にあります。天草との環境の違いが、お互いに惹かれ合ったのかもしれません。

夏は天草高校が韓国へ、秋は土坪高校が日本へと相互訪問が毎年続けられています。2016年は天草から生徒9名、職員2名の親善派遣団で韓国を訪問、土坪からは生徒9名、職員3名の交流団が来校しました。2020年はコロナ禍で残念ながら中止となりましたが、昨年はオンライン形式で



2016年天草高校親善派遣団土坪高校へ

団長として、生徒10人で訪韓して大歓迎をうけました。秋には土坪高校から同規模の代表団が天草高校を訪問。両校は授業や文化交流、更にはパートナーと相互ホームステイをおこない「家族ぐるみ」へと、交流が深まっています。



2017年土坪高校交流団天草高校へ

交流復活を果たし、お互いに訪問できることを心待ちにしています。もちろん授業の一環ですから、異文化に接することから相互に科学技術の研究成果発表や、スカイプを利用した合同授業など多岐にわたっています。

フェローシップ事業とは、研究に専念できる環境を提供するために、学生の処遇の向上、及び後の安定的なキャリアパスの確保を目的とした事業で、生活上の不安を取り除いて、研究を奨励するための支援をするものです。

（記事中の写真は天草高校より）



天高OBの皆さん
本渡に来たら、寄って下さい

cafe and bar



TONIO-HOUSE

平尾 健自 (高15回卒)

天草市栄町12-36 第一映劇前 ☎0969-24-1478

ピアノ引き取り処分

高12回卒

葦原 設二 (あしはらせつじ)

調律・修理・移動・販売

〒518-0437 三重県名張市つつじヶ丘北7番町36番地

T E L 0595-68-1717

携 帯 090-8375-7877

Email ashihara@asint.jp

天草高校SSH 令和3年度を振り返る

天草高校がSSH指定校に指定されたのは平成29年で、昨年度が5年目の最終でした。この間指定校として、数々の成果を上げてきたのはご承知の通りです。集大成としての最終年度に、私たちも期待していたところです。(なお、平成4年度から再度SSH指定校に指定されました)

昨年度の活躍を、天草高校のホームページより抜粋して紹介します。

〈四月〉

ASI、始動 恒例の天草学連続講義が10回に亘って、外部講師を招いて開催されました。

〈七月〉

ASII、研究テーマの公開 アマモ、タニシ、温め隊、建築 毒草、炭酸カルシウム、汽水域、環境DNA、クロモジ精油の各班です。

ASIII、研究成果発表会

テトロボットやクラゲ、ヒオウギガイ、小水力発電、潮流発電、アオサ石けん、ATP、ジャンボタニシ、汽水域といった天草の自然環境を活かした研究発表を、科学部はアマモの栽培による地球温暖化対策についての研究を発表。

科学部アマモ班が、『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ』に参加

サイエンスインターハイ@SOJOに参加(崇城大学主催) ASIIIの電磁誘導班が「天草の海」Jes電磁誘導」で銅賞を受賞。

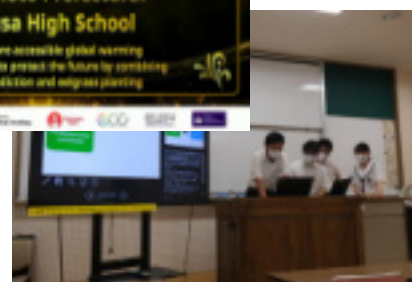
第5回天草サイエンスアカデミー開催(オンライン) 4つの講座に、合計33名の児童・生徒が参加。

天草宝島起業塾高校生コースに参加 3年生が最優秀賞及び優秀賞を獲得。

〈八月〉

オンラインによるマレーシア海外研修 現地での海外研修の代替として、マラヤ大学の方々とオンライン研修。昨年度はマラヤ大学のオンライン海外研修は3回実施しました。講義も研究発表も、質疑応答もすべて英語で行われます。

Global Link Online General部門出場 General Division Social Science Category)第一位受賞(世界大会一位)。審査員から「科学的な根拠をもとにした研究結果であったことと、グローバルな視点で地域を巻き込んで課題解決に向かっていることへの評価が高かった」という講評を貰いました。



Global Link Online

〈十月〉

サステナ英語プレゼンテーションチャレンジ本選出場 ユネスコ・アジア文化センター(ACC)及びフジテレビ主催の「Voice of Youth Empowerment サステナ英語プレゼンテーションチャレンジ」書類選考通過校が発表され、科学部アマモ班が、応募120校の中から本選出場権を獲得。書類審査を通過した6校と、海外2校が11月に行われる Future Voicesに出場します。

大津町真木で田んぼの稲刈り 以前参加したコンテスト最優秀賞の副賞として水田のオーナー権を獲得。稲の刈り方、脱穀の方法だけでなく、植物の根に住む根粒菌や稲穂につく麹菌について教わりました。

アマプロ2021開催(天草市民センター)

水の国高校生フォーラムに参加 3校の研究発表があり、天高科学部アマモ班からは、科学部が考案した地球温暖化を食い止めるための具体的な活動を発表しました。

科学の甲子園熊本県選考会 2年生有志が「科学の甲子園全国大会」熊本県出場校選考会に参加。筆記・実技ともにチームワークに重きを置いて果敢に挑戦し、参加9校中4位でした。

〈十二月〉

九州大学主催の「高大連携」世界に羽ばたく高校生の成果発表会 2年ASクラス3班がオンラインで参加

第6回天草サイエンスアカデミー開催 これは、天草高校を会場として、小中学生に向けた科学講座で、2年ASクラスの生徒が企画し実施。2年生有志が運営をサポート。

〈一月〉

サステナ英語プレゼンテーションチャレンジに出場 この大会は、ユネスコとフジテレビが主催するイベントで、選抜された日本および海外の合計8チームが「SDGsが変わる未来」についてプレゼンテーションするものです。

天高科学部は、アマモの研究発表を根拠として、世界規模で問題と(以下続く)

SSH

天草高校再び
指定校に決定

SSH関西研修 大阪大学にて

天草高校は、3月24日文科科学省のホームページにおいて、令和4年度SSH指定校に指定(内定)されました。平成29年にSSH指定校に指定され、昨年度で第1期が終了しました。今年度から第2期として5年間、再び研究指定校として取り組むことができます。天高では第2期の研究テーマは「探究的な問いの視点で地域を見つめ、科学的思考で持続可能な世界を創る科学技術人材育成」と発表しています。第1



SSH海外研修 マレーシア・マラヤ大学

期で開発した天草サイエンスの探究活動を「天草探究」で全校展開したり、全ての理科(物理・化学・生物・地学)を学ぶことができる「総合理科」を開発するとしていますので、今後の活躍を注視して見守りたいと思います。

皆さんもご承知のように、第1期のSSHでの活躍は、新しい挑戦も含めて目を見張るものでした。コロナ禍前は2年続けて関西研修が実施され、同窓会として応援させてもらいました。これからの5年間の更なる活躍を期待します。

SSHとは高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施するとしています。SSHの指定校となるには、高等学

校・中高一貫教育校は、文科科学省に設置機関経由にて、応募し採択される必要があります。文科科学省よりSSHの指定を受けた学校には、科学技術振興機構(JST)が活動推進に必要な支援を実施します。

JSTは学校に代わり物品購入、研修・講師費用等の支払いを行うほか、発表会の企画運営や情報提供等を行い、SSHの活動をサポートしています。

3月の発表では、基礎枠で57校を内定。(開発型・実践型・47校、先進的改革型・5校、認定枠・5校)となっています。

開発型：新規性のある教育課程等の研究開発を実施するもの(指定期間5年)
実践型：今までに開発してきた教育課程等の実践的な研究開発を実施するもの。
過去にSSHに指定された実績があることが必要

2019年 Global Link Singapore
世界大会

(続き) なっている地球温暖化対策への提言を行いました。この大会には、キリバスや東ティモールの学生も参加しており、世界で起きている問題を身近に感じるとともに、自分たちの研究の意義を再確認する機会となりました。

〈三月〉

令和3年度SSH研究成果発表会
研究成果発表会は、生徒が研究者として活動する機会と位置付けて、毎年実施しています。今年度は1人1台端末や大型提示装置等のICT機器を活用して、ZOOMによる口頭発表を行ったり、実際に会場でポスターセッションを行ったりすることで、これまでの研究の集大成を披露しました。SSHの取り組みは、各種フォーラムでの研究発表や、国内のみならず国外の機関や専門家の方々との連携により、着実に成果を積み上げてきており、

Global Link Onlineで世界1位を獲得するなど、注目を集めています。

昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響により、さまざまな制約を受ける1年でしたが、そうした状況のなかでも、専門性を高めるための多くの機会に恵まれ、今日この日を迎えることができましたと結んでいます。

